

黒潮圏セミナー

東日本大震災からの地域と水産業の復興： 南三陸町自然環境活用センターの現場から

講演： 太齋彰浩氏

(南三陸町役場水産業振興係長・元南三陸町自然環境活用センター主任)

■日 時 2012年8月27日(月) 16:00～17:30(予定)

■場 所 高知大学朝倉キャンパス メディアホール(メディアの森6階)

■問合せ先 黒潮圏科学部門事務室 ☎ 088-864-5786

津波防災や震災復興、環境教育に興味のある方は是非ご参加下さい！

概要：

南三陸町自然環境活用センターは、宮城県南三陸町を拠点に、海を中心とした地域資源研究や、研究者の受け入れ、また、町内外を問わず、子どもから大人までを対象にした自然環境教育・科学教育を提供してきましたが、東日本大震災の際の津波で壊滅してしまいました。南三陸町も震災で大きな被害を受け、多数の人命を失っただけではなく、地域の生業や産業の基盤も破壊されてしまいました。

本セミナーでは、同センターで津波に被災し、その後南三陸町役場で地域や水産業の復興に取り組んでおられる太齋彰浩氏をお招きし、震災前の南三陸町自然環境活用センターとその活動内容についてご紹介していただいた上で、南三陸町の震災被害についてご自身の体験を交えて語ってもらおうと思います。その上で、その後携わっていらっしゃる南三陸町の水産業の復興についてもお話しいたします。

必ず来ると言われている南海大地震は、東日本大震災と同種の被害を高知県の沿岸地域にもたらすと予想されています。黒潮圏域の諸地域は昔から大きな災害に襲われ、その都度大きな被害を受けつつ、人々は暮らしを立て直してきました。この講演を元に、このような災害にどのように備えるか、また災害を受け流し、居住する人たちの暮らしを持続的にしていくにはどうすればいいかという点を考えることができればと思います。

主催：高知大学 黒潮圏科学部門

DCセミナー指定 (博士)(文系・理系)

黒潮圏セミナー指定 (修士)(文系・理系)